

令和2年度 ゼミナールⅢ・Ⅳ活動紹介

米山宗久ゼミナール

地域住民の交流支援 (親子交流・多世代交流支援)

核家族化の進行や就労形態の変化により、親子や祖父母などの関係が希薄化しており、親子関係を築くには共通する話題を持つことが重要となっています。おもちゃは親世代にも親しみのある遊びであり、多種多様から創造性も持ち合わせています。また普段交流が少ない祖父母も一緒に遊ぶことができる簡易性も持っています。そこでゼミでは、プラレールやペットボトルロケットを活用して、交流支援活動を行っています。2019年のゼミ独自イベントでは、約400名の参加者がありました。

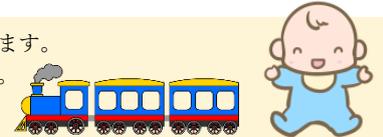


【参加学生】 15名(3年生4名,4年生11名)

4年生 池島大樹、石月千絵、笠原渉、木村野々花
小檜山拓也、佐々木あかね、中尾暖結
西山元、三本裕馬、結城りな、和田賢太

3年生 石井恭平、瀧澤華蓮、長倉優奈、中澤萌

「赤ちゃん抱っこ」の経験もできます。
「遊び」で自分自身も楽しめます。



山川智子ゼミナール

自分の生活といのちを守る『危機管理』、 そのためにできることは？

今年度ゼミのテーマは『危機管理』です。「世の中のしくみはどのようにになっているのか？ 自分たちの生活や生命を守るために必要な知識や情報は何か？」と自主的に考えながら、理解を深め、実践してゆくの狙いです。新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の危機に直面している現在、医学・医療・福祉・防犯・防災・コミュニケーション・金銭や情報のリテラシーなど、事例の紹介やシミュレーションなどを通して、広く役に立つ実際的な問題を取り上げています。ゼミ学生たちの自己効力感を高め、レジリエンスを強化すべく地固めをしています。



【参加学生】 18名(3年生10名,4年生8名)

4年生 阿部修人、伊藤海飛、大滝虹太、尾坂彰
諷訪右京、竹田直人、松野祐資、宮島正成
3年生 大淵麻央、笠原ちづる、小杉悠菜、齋藤芽生
佐藤友紀、瀬藤大河、長原夢里香、
宮島由似、山代裕也、吉田彩也花

昨年度のゼミパーベキューの写真から引用。今年はみんなで集まって、こんな具合に親睦を深まるのが難しくても、その分それぞれの求める人生の価値を明確にして、実りある時間を過ごしていきたいものです。

令和2年度 ゼミナールⅢ・Ⅳ活動紹介

吉川宏之ゼミナール

スマートフォン、コンピュータを利用した地域でのサービスを考える

スマートフォン、携帯ゲーム機などのコンピュータの機能やサービスを調べ、基本を理解した上で、「身近な地域にどんなサービスがあれば便利か」を考えていきます。最近では、スマートフォンの普及で便利な点も増えましたが、ウイルスや個人情報の漏洩など、問題も多くなっています。これらの点もふまえて検討していきたいと思います。

実際にコンピュータを使いながら、新しい機器、サービスの利用方法などのグループディスカッションを含めて進めていきます。また、アルゴリズム(プログラム)の基本となる「判断分岐」、「繰り返し」についてパズルなどを利用して理解を深め、簡単なプログラムの作成を行います。

【参加学生】 24名(3年生9名,4年生15名)

- 4年生 穴沢淳志、植松春陽、浦澤萌香、恩田匡大、
貝瀬達哉、笠原陽太、加藤悠央、金子尊、佐藤玲哉
高坂圭人、瀧澤清貴、長岡星樹、布施憲人、
三浦颯真、若井歩美
- 3年生 高橋泰成、穂保暁人、金山喜一郎、岸耕輝
下平泰生、高木滉大、手塚誠人、永井良典、山住祥大

回	授業の内容	回	授業の内容
1	概要の説明	16	プログラミングパズル
2	地域の紹介プレゼンテーションの作成	17	プレゼン作成 1
3	地域の紹介プレゼンテーションの作成	18	プレゼン作成 2
4	地域の紹介プレゼンテーションの発表	19	プレゼン発表
5	プログラミングパズル 1(アルゴリズム)	20	テーマ課題 1 作成 1(Scratch)
6	プログラミングパズル 2(アルゴリズム)	21	テーマ課題 1 作成 2(Scratch)
7	プログラミングパズル 3(blockly)	22	テーマ課題 1 作成 3(Scratch)
8	プログラミングパズル 4(blockly)	23	テーマ課題 1 発表(Scratch)
9	プログラミングの基礎 1(Scratch)	24	プレゼン作成
10	プログラミングの基礎 2(Scratch)	25	プレゼン発表
11	プログラミングの基礎 3(Scratch)	26	テーマ課題 2 作成 1
12	課題(ゲームなど)の作成 1(Scratch)	27	テーマ課題 2 作成 2
13	課題(ゲームなど)の作成 2(Scratch)	28	テーマ課題 2 作成 3
14	課題(ゲームなど)の作成 3(Scratch)	29	テーマ課題 2 発表
15	課題の発表と前半のまとめ	30	まとめ

西俣先子ゼミナール

環境問題、農業、地域活性化についての研究 「書を捨てず、町へ出よう」

環境問題、農業、地域活性化などをテーマとして研究を行っています。2019年度は栃木県と東京でゼミ合宿を行い、博物館や企業の方にインタビュー調査を行いました。また、4大学合同研究発表会を長岡大学で開催し、宮城県や石川県の大学との交流も行いました。4年生は、麻(ヘンプ)を長岡市で栽培し、地域活性化に活用する提案とその研究、長岡市の100年企業(老舗企業)の調査研究に取り組んでいます。3年生は研究テーマを絞ったうえで、テーマに関する文献調査を行っています。

【教員からのコメント】「書を捨てず、町へ出よう」

北海道をはじめとして、様々な地域でインタビュー調査を行い、札幌学院大学、東京大学などの学生や院生と研究発表会や交流を行ってきました。多様な背景や立場をもつ「ひと」や新しい「こと」に触れるなかで、知識や視座が得られると信じています。一緒に学びましょう！

【参加学生】 27名(3年生14名,4年生13名)

- 4年生 石口唯、伊藤悠貴、岩本太一、上村隼人、カリニン ミハイル
小林悠人、斉藤悠斗、坂牧夏実、笹川大貴、鈴木美夏
Doan Hai Yen、本田彩夏、渡辺武史、Erdenebat Nominerdene



3年生

- 伊丹友哉、内山隆洋、榎並玲子、小池涼太、小玉将輝、白井快弥
田邊友也、中野樹、中野優花、星野大智、本間聖隆、丸山優音、八塩健斗

令和2年度 ゼミナールⅢ・Ⅳ活動紹介

中村大輔ゼミナール

・有価証券報告書等を用いた企業分析 ・学生による商品開発と販売

有価証券報告書等を用いた企業分析

中村ゼミでは主として有価証券報告書を用いた企業分析を行っています。前期では有価証券報告書の内容やその分析手法を学び、後期では各自が選択した上場企業2社について、有価証券報告書や株価、新聞記事等を用いて定量的・定性的に分析します。

特に財務諸表は企業のビジネスモデルの結果が現れているものであり、今後の就職活動やその後の仕事に役立てるような内容です。

・有価証券報告書等を用いた企業分析

【参加学生】 23名(3年生13名,4年生10名)

4年生 猪飼悠介、岡部慎吾、金子智哉、小菅晃広、牛腸堪久哉
白砂伊織、高橋直哉、星野有佑、本田彩夏、王鵬
3年生 入澤優介、坂井瑠、佐々木彩乃、常亜青、種村俊吾
鶴元裕、津田桂吾、手塚美樹、長谷川拓未、松本海都
水落郁花、渡邊翔、Munkhbat Dairiimaa

学生による商品開発と販売

昨年度の平田ゼミから引き継いだ学生は、自分達による商品開発とその販売について継続して活動しています。

具体的には、(株)美松様とは県産米粉を用いた「新潟コイクッキー」を、(株)紅屋重正様とは和三星糖を用いた「ハレハレはなび」を開発しています。

新潟コイクッキーについては、ガトウ専科様において好評発売中であり、さらに販路の拡大やメディアミックス等も予定しています。ハレハレはなびについては、後期中にイベント等での本格的な販売を予定しています。

・学生による商品開発と販売

【参加学生】 6名(4年生6名)

4年生 大島日和、岡田凌輝、近藤亮太、高橋宏輔、長谷川早紀
吉田真理

牧野智一ゼミナール

日本の財政の現状や 財政の役割についての研究

牧野ゼミナールでは、普段の生活ではほとんど意識しないけれども、私たちの生活に様々な影響がある財政について学修しています。

3年次には財政に関するテキストを輪読し、日本の財政に関する知識を深めるとともに、自ら考える能力やプレゼンテーション能力を養うことを目的として活動しています。

4年次には、各自が経済や社会にかかわる問題をテーマに選び、4年間の学修してきた知識や経験を活用したり、様々な文献などを調べたりするなどの努力により、40,000字以上の字数を目標にして大学生活の集大成となる卒業論文の作成をしています。

【参加学生】 21名(3年生10名,4年生11名)

4年生 勝田旭、網干竜輔、伊東瑠生、小野澤浩、木村理央、小出香織
Gombo Solongo、佐藤伊武紀、清野貴、中山和敏、姜晓涵
3年生 浅野義人、木部龍人、久保公人、小松賢太、戴昂、武田知樹
田辺将太、陳立承、陸雨柔、劉宝志



ゼミでは、定期的にゼミのコンパを開催や、夏休み期間を利用して1泊2日でゼミの研修旅行などを行い、ゼミ生同士の交流を深めています。